

令和8年（2026年）5月教育委員会定例会会議録

日 時 令和8年（2026年）5月26日（火）午後1時30分～午後2時30分

会 場 柏崎市役所4階4－4会議室

出席者	教育長	近 藤 喜 祐
	委員（教育長職務代理人）	米 谷 杉 子
	委員	飯 塚 政 雄
	委員	荒 川 学

欠席者	委員	霜 田 真紀子
-----	----	---------

説明のため出席した職員

教育部長	田 中 光 司
教育総務課長	細 山 和 美
学校教育課長 兼	
教育センター所長	山之内 知 行
文化・生涯学習課長	西 巻 隆 博
スポーツ振興課長 兼	
水球のまち推進室長	若 月 啓 満
図書館長	竹 田 貴美香
博物館長	徳 間 正

説明及び職務のため出席した事務局職員

教育総務課総務企画係長	茨 城 計 卓
-------------	---------

議 題

1 会議録署名委員の指名

2 教育長専決処理報告

(1) 門出教員住宅の屋根雪落下による家屋物損事故に係る和解及び損害賠償額の決定について

(2) 令和8（2026）年度一般会計補正予算（第4号）について

3 審議事項

(1) 柏崎市立教育センター運営委員会委員の委嘱について

(2) 柏崎市地域クラブ活動支援事業補助金交付要綱及び柏崎市地域クラブ活動費支援事業実施要綱の制定について

4 報告事項

(1) 教科書展示会の開催について

(2) 「科学のえんま市2026」の開催について

- (3) 柏崎市成人式「二十歳のつどい」の開催状況について
- (4) 市民ハイキング登山（八石山）を開催しました
- (5) ブルボンKZから選手と監督が出場！水球ワールドカップ予選が開催されました
- (6) 第26回柏崎潮風マラソンを開催しました
- (7) 柏崎市立博物館における「国際博物館の日」記念事業の実施報告について
- (8) 史跡・飯塚邸「新緑の秋幸苑とつるし雛かざり」の実施報告について
- (9) 共催・後援の事業について（10件）

5 その他

- (1) 6月定例会の日程について
- (2) その他

< 午後1時30分 開会 >

第1 会議録署名委員の指名

(近藤教育長)

会議録署名委員に、飯塚委員、荒川委員を指名する。

第2 教育長専決処理報告

(近藤教育長)

教育長専決処理報告に入る。

- (1) 門出教員住宅の屋根雪落下による家屋物損事故に係る和解及び損害賠償額の決定についてを議題とする。

(教育総務課長)

門出教員住宅の屋根雪落下により、隣接倉庫の外壁シャッターを損傷した件について、損害賠償額56万1千円を市が全額負担するものである。和解日は5月12日となる。

事故は、1月21日から2月上旬までの降雪で屋根雪が固まり、それが落下したものと推測される。当該教員住宅は翌年度以降に解体予定であったが、前倒しして今年度中に解体する方針である。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

- (2) 令和8（2026）年度一般会計補正予算（第4号）についてを議題とする。

(教育総務課長)

教員住宅解体費として2,900万円を計上した。財源は、工事費の90%となる2,610万円について、公共施設等適正管理推進事業債を利用するものである。

(学校教育課長)

A L T 2名の退職・採用に伴う費用増として85万1千円を追加した。非常勤職員の通勤距離が当初予算編成時の見込みよりも延長になったことで、通勤手当も増額となったためである。また、不登校対策スタッフが教育総務課からの継続任用となったため、期末勤勉手当が発生するものである。

(文化・生涯学習課長)

正職員の急な退職に伴い、採用することとなった非常勤職員の報酬等20万6千3百円が増額となる。また、認定地域クラブの指導者謝礼や生活困窮世帯の参加費支援で7万2千6百円が増額となる。その他、部活動地域展開事業刈羽村負担金8万6千円、文化芸術振興費国補助金の9万2千円、県補助5万7千円を計上した。

(博物館長)

柏崎市内遺跡発掘調査事業は、県事業の計画変更により追加の試掘調査が必要となり、17万8千9百円が増額となった。これに伴い、歳入は、国宝重要文化財関連補助金8万4千2百円を計上している。

また、博物館運営管理費は、歳出として排水管修繕15万7千3百円、自家発電機調査5万4千6百円を計上した。

(スポーツ振興課長)

部活動地域展開に伴う指導者謝礼補助と生活困窮世帯の参加費支援で34万3千5百円を計上した。地域おこし協力隊については、元々ブルボンウォーターポロクラブ事務局の支援を、地域おこし協力隊によって行っていたが、令和6(2024)年度から令和7(2025)年度は応募者がなく、令和8(2026)年度は予算計上をしていなかった。しかし、今年度体験参加者から応募があり、9月採用予定となったことから、6月補正で予算計上するものである。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第3 審議事項

(近藤教育長)

審議事項に入る。

(近藤教育長)

(1) 柏崎市立教育センター運営委員会委員の委嘱についてを議題とする。

(教育センター所長)

令和8(2026)年の5月31日をもって、委員の任期が満了となるため、解嘱又は任命をするものである。12名中、新任が6名となる。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

(2) 柏崎市地域クラブ活動支援事業補助金交付要綱及び柏崎市地域クラブ活動費支援事業実施要綱の制定についてを議題とする。

(スポーツ振興課長)

1つ目の柏崎市地域クラブ活動支援事業補助金は、クラブに対する補助であり、指導者に対する謝礼の一部補助となる。基本的にクラブの運営は、部員からの部費を充てることになるが、質の高い指導者の配置やクラブの負担軽減のため、指導者の謝金の一部を補助するものである。

2つ目の柏崎市地域クラブ活動費支援金は、支給対象が保護者となる。経済的に苦しい世帯に対し、部費の一部を補助するものである。

なお、指導者の謝金については、一回当たり午前又は午後の3時間の想定で4,800円となるが、うち3,000円をクラブが負担し、差額の1,800円をこの事業で補助するものである。指導者謝金については、基準単価を1時間当たり1,600円にしている。全国的な地域クラブ活動の指導者の報酬の相場が、おおむね1,500円から1,800円と言われており、柏崎市は、1,600円を単価として採用した。クラブは吹奏楽を含めて8つあり、指導者は35人である。

地域クラブ活動費支援金の対象者は約60人と想定している。こちらは、クラブの会費や保険料の1/2を補助するものである。年額の上限は12,000円、月1,000円に設定した。クラブの立ち上げ時の部費を調べたところ、おおむね1,000円から多いところで4,000円であった。ほとんどのクラブの部費は月2,000円の範囲で収まるので、補助金の範囲内で、その半額を支援できる形になっている。

現在、予算の方が可決されたら、4月1日から遡って適用することになる。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(米谷委員)

過去に社会体育に関わったことがあり、指導者確保に苦労した。資質を満たした指導者を確保するための予算措置を評価したい。補助期間終了後の運営をどう見ているか聞かせてほしい。

(スポーツ振興課長)

地域クラブへの補助は、3年間の猶予期間として位置付けている。いきなり完全な自主運営を求めるのは困難であるため、まず認定クラブとして指導者の資質を確認した上で補助を行い、3年間で自立運営へ移行する設計である。4年目以降は、クラブが自ら部費等で指導者を確保し運営することを想定している。

(近藤教育長)

他になれば承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第4 報告事項

(近藤教育長)

報告事項に入る。

※教育長及び各課（室）長が資料に沿って説明

- (1) 教科書展示会の開催について
- (2) 「科学のえんま市2026」の開催について
- (3) 柏崎市成人式「二十歳のつどい」の開催状況について
- (4) 市民ハイキング登山（八石山）を開催しました
- (5) ブルボンKZから選手と監督が出場！水球ワールドカップ予選が開催されました
- (6) 第26回柏崎潮風マラソンを開催しました
- (7) 柏崎市立博物館における「国際博物館の日」記念事業の実施報告について
- (8) 史跡・飯塚邸「新緑の秋幸苑とつるし雛かざり」の実施報告について
- (9) 共催・後援の事業について（10件）

(近藤教育長)

以上で報告事項を終わる。

第5 その他

- (1) 6月定例会の日程について 6月30日（火）午後1時30分開会
- (2) その他

＜ 午後2時30分 閉会 ＞

以上、相違ないことを確認する。

令和8年（2026年）5月26日

教育長 近藤 喜祐

委 員 飯塚 政雄

委 員 荒川 学